

令和3年度第2回横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和4年3月21日(月) 16時00分から19時00分まで
開 催 場 所	緑区役所4階会議室4A・4B
出 席 者	<p><b>【選定委員会委員】</b></p> <p>委員長 小野 孝嘉 ( 田園調布学園大学 准教授 )</p> <p>委員 覺正 豊和 ( 税理士 )</p> <p>原田 ますみ ( 緑区保健活動推進委員会 会長 )</p> <p>正木 きよ子 ( 緑区民生委員児童委員協議会 副会長 )</p> <p>松浦 千恵 ( 緑区地域子育て支援拠点「いっぽ」 施設長 )</p> <p>蕨 圭二 ( みどり地域活動ホームあおぞら 施設長 )</p> <p>臨時委員 塚田 順一 ( 霧が丘地域ケアプラザ運営協議会会長 )</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>緑区福祉保健センター長 室谷 洋一</p> <p>緑区福祉保健課長 米岡 由美恵</p> <p>緑区福祉保健課事業企画担当係長 稲田 道</p> <p>緑区福祉保健課事業企画担当 高橋 哲平、河原 龍也</p>
欠 席 者	無し
開 催 形 態	非公開(令和3年度第1回委員会にて決定)
議 題	<p>1 応募団体の面接審査について</p> <p>(1) 応募状況・審査方法について</p> <p>(2) 最低制限基準点(最低基準点)について</p> <p>(3) 事業実績評価について</p> <p>(4) 財務評価について</p> <p>(5) 面接審査</p> <p>(6) 審議(指定管理者の候補者の確定)</p> <p>2 指定管理者の候補者の選定について</p>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下「次点候補者」という。)として、次のとおり、横浜市緑区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市霧が丘地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</p> <p>指定候補者：社会福祉法人 奉優会</p> <p>次点候補者：なし</p>
そ の 他	<p>資格要件について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県警に照会した結果、暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと</li> <li>・市税納付状況等の照会の結果、滞納はないことをそれぞれ確認し、事前に委員へ報告した。</li> </ul>

議 事	<p><b>1 開会（進行：委員長）</b></p> <p><b>2 定数の確認について</b>  選定委員出席者数6人のため、委員会成立  （成立要件：6名中4名出席）※臨時委員は除く。</p> <p><b>3 議題</b></p> <p><b>(1) 応募状況・審査方法の確認について</b>  応募団体は2団体のみ。ただし、最低制限基準点を超えることが候補者指定の条件となっている。また、各委員とも応募団体と利害関係がないことは、確認書をもって確認済み。  面接審査では1団体につき、プレゼンテーションを15分以内で、質疑応答を15分以内で行う。応募団体退出後、30分間、審議・採点を実施。その際、財務評価の分析結果について意見交換をしていただいたのち、全体の採点をまとめる。</p> <p><b>(2) 最低制限基準点の確認について</b>  令和3年度第1回委員会で承認されたとおり、出席委員の全ての評価基準項目の点数を合計し、最も得点の高い者を指定候補者として選定することとすることを再確認。  併せて、最低制限基準点に満たない団体は、選定されないこととする。最低基準点は「評価項目1～6の総合計点の60%」に設定することを再確認。</p> <p><b>(3) 事業実績評価方法の確認について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「前期の指定管理業務の実績報告書」「事業実績評価」「第三者評価結果報告書」をもとに、評価シートの7(1)(2)を採点する。</li> <li>・前期の指定管理業務の実績報告書について、「5 常勤職員配置」については、現指定期間のうち平成30年度から令和2年度までの3年度の職員の配置状況になっており、評価シートの「7(2)職員配置状況」の評価に関わる。3年度の職員充足率が97.25%を下回ると5点減点、上回ると減点無しとなる。</li> <li>・「6 発生した事故」については、平成30年4月1日から本日の委員会までの期間で発生した主な事故とその後の対応状況を記載している。</li> <li>・事業実績評価は各年度に区役所が指定管理者に対して行った評価結果、第三者評価結果報告書は外部の機関が現指定管理期間中に1度行った評価結果になっている。これらの資料をもとに評価シートの「7(1)前期の指定管理業務の実績」の評価をする。</li> </ul>
-----	---

#### (4) 財務評価方法の確認について

令和3年度第1回委員会で決定したとおり、各団体面接審査の後、応募団体退室後に採点作業を行うが、採点作業に先立ち財務分析結果報告書を基に意見交換を行い、その意見交換を踏まえて、財務評価を含めた採点を行うことを再確認。

#### (5) 面接審査

##### ア プレゼンテーション

各団体から、団体の概要、事業計画等について説明

##### イ 主な質疑応答

###### 【法人1：質疑応答】

(委員) インターナショナルスクールの外国人とのコミュニケーションはどのように行っていくか。

(団体) 日本語を話すことのできる先生がいるので、その方を中心にコミュニケーション・連携を取っている。

(委員) 資料内の「NPO法人レクタス」とは何か。

(団体) 障害児の余暇支援・学習支援を行っている事業者。

(委員) 障害分野において、関係機関とどう連携をしていくか具体的に聞かせてほしい。

(団体) 基幹相談支援センターあおぞらとの協力で、居場所づくりを行っている(2か月に1回)。地域のボランティアの方にも手伝ってもらっている。

他の障害者施設等にも声かけをして、ワークショップの開催などの機会をもとに連携を進めていく。

このような交流の場も使いながら、地域の障害理解を深めることに努めていきたい。

(委員) 感染症対策について、施設運営において具体的な対策方法を教えてほしい。

(団体) 基本的な感染者対策とあわせて、利用者には連絡先を確認して、濃厚接触者となった際に追跡できるようにしている。

そういった感染者が出た場合には、法人として緊急会議を開催し対応を検討している。また、ケアプラザの運営については、自治体とも相談の上、連携をとっていきたい。

(委員) 災害対策に関して、デイサービスなどの職員も含めた訓練参加についてどのように考えるか。また、停電の際の対策はどのように考えているか。

(団体) 霧の里で自治会の皆様中心に発電機を用意していただいているが、施設職員が実際に使用する訓練はできていない。いざというときに使え

るように操作訓練を重ねていきたい。また、今後はデイサービスの職員も防災訓練への参加について検討していきたい。

(委員) 担い手不足ということが地域課題としてあると思うが、事業から担い手を探す、見つけたような事例はあるか。

(団体) 今年度、スマホ講座で若いお母様にお声がけして、高齢者にスマホの使い方を教えていただきご協力をいただいた取組があった。

(委員) 地区の要介護認定率が低いとあるが、必要としない人が多いという認識か。それとも必要だが、声をあげられない人が潜在的にいると考えているか。

(団体) 介護認定率が低いのは、人口データなどから勘案しても、後期高齢者の方が少なかったためだと考える。今後は後期高齢者が増えていくに伴い、認定率も増えていくことが想定される。今後そういった方が声をあげられることが重要になってくる。困っている人がいるかどうかを地域の中で連携を取って、課題解決にすすめていきたい。またケアプラザを地域に知ってもらうことも大切だと思う。発信することについても力を入れていきたい。

(委員) 生活支援体制整備事業について、コーディネーターがどういう風に地域を描いているか。

(団体) 生活支援コーディネーターについては、現在積極的に地域に出向いている。どういう地域にしていこうかを、地域での話し合いの中で一緒に考えていけることが理想なので、地域と連携して一緒に進めていきたい。

(委員) 主任ケアマネジャーの欠員の理由は。

(団体) 前任者が退職して後任者の資格要件を満たすための研修受講が遅くなってしまったため、その後欠員は生じていない。

#### 【法人2：質疑応答】

(委員) 地域の団体などとも連携していくことが大切。その中で、現状どういう団体があるかを把握・調べているか。また、運営に備えてどれくらいの準備・想定ができているのか。

(団体) 障害者施設、介護事業所、NPO法人などがあることは認識しているが、どれくらいの数の資源があるかは今この場ではわかりかねる。法人で行っている事業に関連して、高齢者支援に関するつながりは持っている。地域と長い間培ってきた経験を活かすなど連携をとっていききたいと考えている。

(委員) 資料において、障害分野に関する具体的な記載がなかった。地域ケアプラザの役割として地域包括ケアシステム（地域で支えていくシステム）というものがあるが、ケアプラザとしての障害者支援や関係機関

との連携について、どのようなことを考えているか。

(団体) 障害者団体・機関などとの連携は重要だと認識している。障害者の活動や、地域に障害者がお住まいであることなどを地域へ周知・啓発することが第一歩であると考えている。

災害などにも協力体制がとれるように、災害時の連携について考えることが必要。障害者の親が高齢化して、行き先として高齢者の施設も考えていく。

(委員) 災害対策の福祉避難所の開設に関して、事業計画書に近隣からの応援に関する記載があるが、実際のところ何人くらい応援に来る想定か。

(団体) 霧が丘周辺に複数の施設をもっており、災害時には常勤職員が動員対象となっている。職員は500人ほどいるため、その中で職員の配置などを決めたい。

(委員) 障害者施設で作成したものの販売を検討しているということだが、実績があるのか。また、霧の里で販売を行うことは想定にあるのか。

(団体) 法人では販売促進を行っている。また、そういった販売も今後できればと考えている。

(委員) 「新しい風を吹かせたい」と冒頭仰っていたが、具体的にどのような取組を考えているのか。

(団体) IT化の推進を考えている。今までの事業でやっていなかったことをやっていきたい。

(委員) 要介護認定率が低いとあるが、必要としない人が多いという認識か。それとも必要だが、声をあげられない人が潜在的にいると考えているか。

(団体) 霧が丘地区周辺は健康寿命が高く、元気な方が多い。健康寿命をいかに伸ばしていくか。要介護にならないように、様々な活動を通して健康寿命を伸ばしていきたい。

(委員) 生活支援体制整備事業について、コーディネーターがどういう風に地域を描いているか。

(団体) 地域のニーズにアプローチをする取組をしていきたい。

#### (6) 審議（指定管理者の候補者の選定）

面接審査並びに事務局から前期の指定管理業務の実績に係る報告を受けて評価を行う。また財務評価については、各法人の財務分析結果報告書を基に、委員で意見交換を行い、各委員で採点を行う。上記項目の評価をすべて行ったのち、各委員の評価結果を集計する。

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 奉優会（法人1）	1,687点／2,275点
次点候補者	なし	

※法人2については、最低基準点を下回っているため、選定しないこととする（1,107点／2,205点）。

**（審査講評）**

**ア 指定候補者（社会福祉法人 奉優会）**

地域資源や地域活動団体など霧が丘地区のことを理解しており、面接審査で次期運営に関する熱意が伝わってきた点は好印象であった。当たり前のことを当たり前に行うことができ、具体性に富んだプレゼンテーションであったことは評価することができる。

指定管理者として長年の経験を生かした運営がなされることは安心につながる面もあり、指定候補者として適切であると考え。

また、法人の財務状況も安定していることから、今後も安定した運営を行うことが期待できる。

今後の運営にあたっては、次の点などに期待したい。

- ・長年同一法人が運営することに伴い、事業実施にあたってのマンネリ化も懸念される。ICT活用（子育て世代を巻き込んだ高齢者向けのスマホ講座の実施など）に関する新たなアイデアも取り入れている事例もあるため、今後も創意工夫した事業展開に期待したい。
- ・子育て支援や障害者支援に関して、これまで培ってきた関係機関とのネットワークをさらに広げて取り組んでいくことが必要である。
- ・地域ケアプラザの諸室やロッカーの利用にあたって、公平性を高める取組の工夫が必要である。
- ・男女共同参画や災害対応などを踏まえて、職員の男性比率を高めることも必要となってくると考える。

**イ 次点候補者**

なし

**ウ その他**

法人2については、最低基準点に達しなかったため、次点候補者とはならなかったものの、次のような講評があった。

- ・新たに地域ケアプラザ運営に携わることへのチャレンジを評価することができ、ICT活用やeスポーツなどの取組を提案するなど、新たな視点を有している。

	<p>・一方で、霧が丘地区の地域資源の把握状況について審査において丁寧な回答がなかったことは残念であった。また、関係機関とのネットワーク構築についても展望に具体性を欠いている部分があった。全般的に、実際に地域ケアプラザを運営する際に「地域の〇〇〇という課題に対して、具体的に〇〇〇に取り組みたい」などのイメージを共有したかった。</p> <p>指定候補者の得点は、最低制限基準点の 60%以上であるため、選定委員会として「社会福祉法人 奉優会」を指定候補者として選定することを決定する。</p>
<p>資 料 特 記 事 項</p>	<p><b>1 資料</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会員名簿</li> <li>(2) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱</li> <li>(3) 横浜市緑区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱</li> <li>(4) 令和3年度第1回選定委員会議事録</li> <li>(5) 令和3年度第2回委員会タイムスケジュール</li> <li>(6) 最低基準点の設定について</li> <li>(7) 前期の指定管理業務の実績報告書</li> <li>(8) 事業実績評価・第三者評価結果</li> <li>(9) 財務分析結果報告書</li> <li>(10) 面接審査評価シート、応募団体応募書類</li> </ol> <p><b>2 特記事項</b></p> <p>特に無し</p>